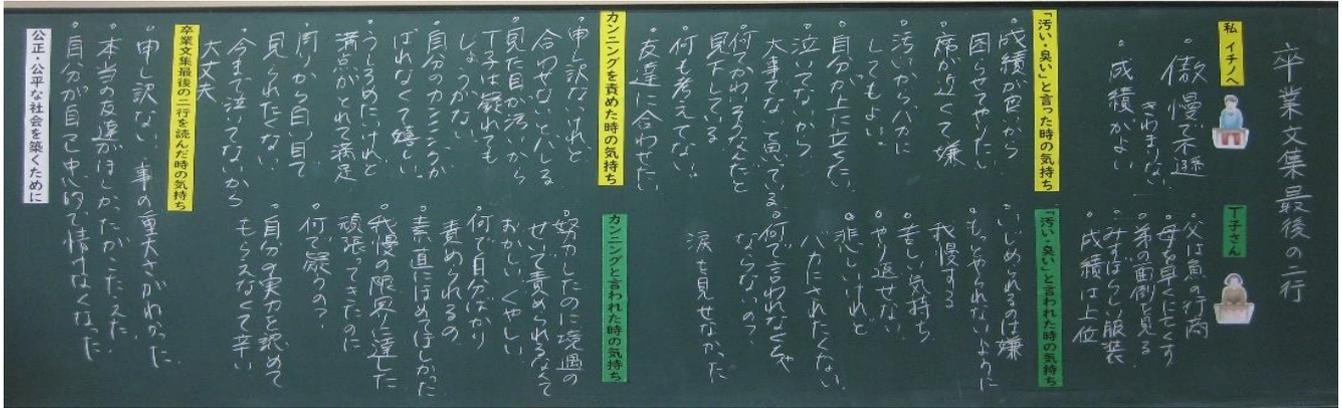


## 3学年 「卒業文集最後の二行」 自分の心の醜さと向き合う～差別や偏見のない社会の実現～



主人公とT子さんの気持ちを対比させながら、多面的・多角的に話し合いました=2024.11月, 3年6組

T子は幼くして母を亡くし、二人の弟の面倒を見ていた。経済的にも恵まれておらず、来ている服が汚かった。『私』は隣の席になったことをきっかけに、先頭に立ってT子をけなすなど嫌がらせをしてしまう。T子の書いた卒業文集の「私が一番欲しいのは母でもなく、本当のお友達です。そして、きれいなお洋服です。」という最後の二行を読み、T子の苦しみを知り、深く後悔し涙を流す。授業ではいじめ側の自己中心的な論理といじめられる側の苦しみについて考えました。生徒の感想に「『私』は申し訳ないと思いつつ、いじめられるほうが悪いと自分を正当化している部分がある。自分本位な考えに打ち勝つことが大切」「人を見た目で判断するのではなく、一人一人が、自分が同じことをされたらどういう気持ちになるのかを考えて行動したい」とありました。謝りたいと思っても行動できない、自分をかばうために嘘をついてしまう…そんな弱さや醜さと向き合う時間でした。

朝日中高生新聞 2024年11月17日の15面の漫画を読んでみてください。



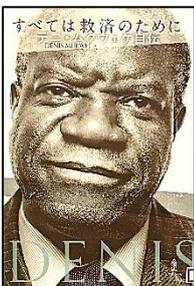
## 明日への扉を開く鍵

今回も「学校図書館」の本中心。



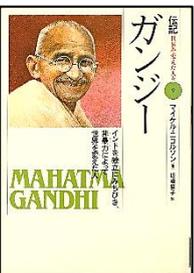
学年フロアのブックトラックから、道徳に関する図書を紹介していきます。自分の視点を広げたり、考えを深めたりするきっかけにしてみましょう。

### 視点・鍵：差別や偏見のない社会の実現



「すべては救済のために デニ・ムクウェゲ自伝」  
デニ・ムクウェゲ あすなろ書房 289p

2018年ノーベル平和賞を受賞した産婦人科医の自伝。「戦争や武力紛争の武器としての性暴力の撲滅を目指す取り組み」が評価されての受賞。コンゴ民主共和国では性的な暴力が組織的に行われている。コンゴの紛争や暴力の背景や、何度も死の危険にさらされながらも弱者を助け、国際社会を動かした一人の医師の人生哲学にも触れることができる一冊。



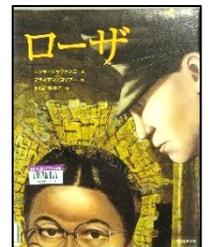
「伝記 世界を変えた人々⑨ ガンジー」  
マイケル・ニコルソン 偕成社 289p

インドを独立に導き、非暴力によって世界を変えたガンジー。インドの藩王国の宰相の息子として生まれたガンジーは、イギリスで弁護士資格を取得し、アフリカに渡り、アフリカ在住インド人の人種差別反対運動を指導するなかで非暴力的抵抗運動という新しい運動の方法を編み出す。不正を見過ごさず、暴力に頼らずに闘う姿が描かれる。

●こんな本もあります



「集団に流されず個人として生きるには」  
「いじめられている君へ いじめている君へ  
いじめを見ている君へ」



「キング牧師の かつよいことば」「ローザ」